

○１０番 赤星燈君

泉中学校２年、赤星燈です。私は、校舎の老朽化について質問します。

近年、学校施設の老朽化が全国的な課題となっています。これは行橋市も例外ではありません。私たちが毎日過ごしている学校でも、校舎の壁の塗装がはがれている場所が見られます。このような状態を見ると、学校施設の老朽化が進んでいるのではないかと感じます。

また、学校は児童・生徒が１日の多くを過ごす場所です。そのため、安全で快適な環境を維持することは、とても重要であると考えます。しかし、行橋市には多くの学校があり、限られた予算のなかで、どの施設から改修を行うか、判断する必要があると思います。

そこで質問です。行橋市では校舎の壁の塗装のはがれなど、学校施設の老朽化について、どのように状況を確認し、改修の優先順位を決めているのでしょうか。また、今後どのような方針で学校施設の整備を進めていくのか、お聞かせください。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

赤星議員のご質問にお答えします。赤星議員が自身の通う学校や他校の様子から感じたことをもとに、学校施設について質問していただき、ありがとうございます。

市内の学校の多くは、１９７０年から１９８０年代、昭和４０年から６０年代にかけて建設されています。建設から５０年以上が経過している学校もあります。議員が感じておられるように、全国的な課題と同じように、行橋市の学校施設においても老朽化が進んでいるのが現状であります。

学校施設は、児童・生徒が多くの時間を過ごし、学ぶ大切な場所であり、全ての学校において、安全で快適な教育環境を維持することは、教育委員会の重要な使命であると考えています。しかし、議員のご指摘のとおり、市内には小学校１１校、中学校６校があり、限られた予算の中で大規模な改修を進めるためには、優先順位を決めて整備を行う必要があります。そこで教育委員会では、学校施設を今後も長く安全に使っていただくため、行橋市教育施設長寿命化計画を策定しています。

この計画では、建築からの経過年数や施設の劣化状況、危険度などを総合的に判断し、改修の優先順位を決めています。また、学校ごとに老朽化が進んでいる箇所やその状況が異なるため、それぞれの学校に最も効果的な改修内容を検討しながら、計画的に整備を進めています。

今後も、児童・生徒が安全で安心して学校生活を送ることができるよう、計画的な学

校施設の整備に努めてまいりたいと考えています。以上であります。

○前半議長 和嶋富夏君

赤星議員。

○10番 赤星燈君

では、計画に入っていないこと、例えば学校の渡り廊下で雨漏りがしていたところを目撃しました。また、私が1年生のときには、教室のドアが何回も外れていました。そういう報告をされたときには、どのような対策をされているのでしょうか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

議員の今ご指摘にありましたように、計画には含まれていない修繕が必要となる不具合も日常的に発生しております。議員が目撃された渡り廊下の雨漏りや教室のドアの不具合についても、対応が必要な事例であると考えております。

学校からそのような報告を受けた際には、まず教育委員会の職員が現場を確認し、学校の先生方から状況を聞き取るなどして、不具合の内容や緊急性を把握します。そのうえで日常的に発生する不具合についても、優先順位を決めて対応していきます。

まず、児童・生徒の皆さんの安全にかかわる箇所を最優先として、次に授業や学校行事など、学校運営に支障を及ぼすおそれのある箇所、その後に汚れや見た目の悪い箇所といった順に対応を決めて、進めております。

修繕の方法については、比較的簡単なものは、教育委員会や学校の職員が対応し、危険を伴うものや専門的な修繕が必要なものについては、専門業者に依頼して修繕工事を行っています。

今後も学校と教育委員会が連携するとともに、保護者や地域の皆様にもご協力をいただきながら、児童・生徒の皆さんが、安全で安心して学校生活を送ることができるよう、迅速な対応と安全管理の徹底に努めてまいりたいと考えております。以上であります。

○前半議長 和嶋富夏君

赤星議員。

○10番 赤星燈君

貴重なご意見、ありがとうございます。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。